

思いやりの心と確かな技術を

理学療法学科

患者様とともに悩み、苦しみ、努力する
そして回復の喜びを分かち合うための心と技術を

理学療法では、身体に障害のある人々、または障害の発生が予測される人々に対し基本動作能力の回復や維持、および障害の悪化を予防するためのリハビリテーションを施します。その内容は、患者様自身の身体運動を通じて治療を進める運動療法、運動を実際の生活の中で「目的動作」として訓練を行う日常生活動作訓練、熱・光・水・電気などの物理エネルギーを利用して治療を行う物理療法があげられます。理学療法士は〈座る・立つ・歩く〉などの基本動作に問題のある患者様と最初に接する職種といえます。その中で障がい者の方とともに悩み、考え、努力し、回復の喜びをともに分かち合える心を持つことが大切となります。

作業療法学科

潜在する可能性を最大限に導き出す
まさに人間にしかできない人間のための仕事です

作業療法は乳幼児から高齢者までの身体または精神に障害のある人々、または障害の発生が予測される人々に対し、作業活動を用いて治療、訓練、指導および援助を行うことをいいます。治療手段としての作業活動には、食事、排泄、更衣、入浴などの身辺動作や炊事、洗濯などの家事動作が含まれる日常生活活動、さまざまなレクリエーション活動、陶芸や手工芸などの創造的活動、生活に必要な時間や物、周囲の状況認識や記憶、計算などの学習基礎能力の発達を促す活動があげられ、これらの作業活動を通じて患者様の心と身体の機能回復、社会生活への復帰を目指します。さらには在宅の障がい者やその家族の方々への助言、指導などの援助も含まれます。

Hakuhokai Medical Technical School



学校長
古城 資久

社会の変化が加速する中、外傷、脳血管疾患をはじめとする身体的、あるいは精神的疾患障害をもつ方は世代を問わず増加の一途を辿っています。理学療法士・作業療法士の役割は患者様が健康な人と同じ生活条件で社会参加していけるよう、リハビリテーションを通して障害の機能回復に努め共に生き喜びを分かち合い全人的復権がなされる事つまり「ノーマライゼーション」の実現にあります。

謙虚さを心掛け研究心を持続すれば豊富なキャリアや人生経験を積まれた高齢者・障がい者から学ぶものは多く、その密着度が濃いからこそ得られる達成感や感動、喜びを大きく実感して頂ける筈です。

理論を学ぶ校舎のすぐそばに医療現場をもつ本学は、若いうちから障害や病気と向かい合い人間の尊厳を理解していくのに最適の環境と言えるでしょう。多様性の高い教育システムで手厚く指導し、学生一人一人の変化に富んだ持てる力を花開かせ共生する未来に向けて輩出できるよう努めます。

《検査測定》



《物理療法》



《日常生活活動》



《高次機能障害治療学》



《骨関節疾患系授業》



はくほう会医療専門学校 赤穂校では、1年次から本校の母体である伯鳳会グループの多数ある医療施設や福祉施設での現場体験実習があります。現役の医師・薬剤師・医療スタッフが経験に基づき指導することで、現場の生の声を聴くことができ、即戦力となる療法士になれるよう、支援・指導し、温かく対応しています。

リハビリテーション医療を通じて、社会に貢献できる「思いやりの心」と「確かな技術」を身につけた理学療法士・作業療法士を育成します。

施設概要

2688.28㎡の3階建
(機能訓練室、作業室、各種実習室、講義室、図書室を含む)
但し、駐車場、駐輪場を除く

昼間/3年制の理学療法士、作業療法士の養成校

各学科定員40名、総定員240名

専任教員11名、非常勤講師約30名、事務職員3名

